

菅江真澄の著作の中で最もよく知られる
図絵集『粉本稿』について、序文にある
「ところ、ためし、うつわ」の三つの視点
で内容を分類しながら、その見方や読み
方を紹介します。



菅江真澄翁肖像

菅江真澄没後二百年に向けて

講座「菅江真澄『粉本稿』の 見方・読み方」

講師 松山 修 氏（元秋田県立博物館学芸職員）

令和七年六月七日（土）
午後一時三十分～午後三時三十分

会場・大館市立栗盛記念図書館

一階多目的室

参加・無料

定員・四十名

申込・令和七年五月十日（土）午前九時より

大館市立栗盛記念図書館

（電話 0186-42-2525）

お問い合わせ・大館市立栗盛記念図書館



『粉本稿』